

商業

受験番号

指導の構想を練る時間：5分間 模擬授業の時間：5分間

（1）本試験のねらい

学級全体を指導する場面において、指定された学年の学習内容について、考え方の過程を示しながら適切な指導ができるかを評価します。

（2）問題の内容

あなたは、商業高校の第1学年の「簿記」の教科担任です。

「現金過不足」の授業の中で、以下の取引の仕訳をする問題を出し、演習中に机間指導を行っている時、以下の解答を書いている生徒がいました。その解答を通して、生徒全体に指導しなさい。

なお、ホワイトボード、机上の教科書を用いても構いません。

また、構想を練る時間に、板書しても構いません。

<取引>

現金の実際有高と帳簿残高を照合したところ、実際有高は¥50,000で、帳簿残高¥51,000より¥1,000不足していた。

●生徒の解答

（借方） 現 金 1,000 （貸方） 現金過不足 1,000

【正答】

（借方） 現金過不足 1,000 （貸方） 現 金 1,000

商業

受験番号

指導の構想を練る時間：5分間 模擬授業の時間：5分間

（1）本試験のねらい

学級全体を指導する場面において、指定された学年の学習内容について、考え方の過程を示しながら適切な指導ができるかを評価します。

（2）問題の内容

あなたは、商業高校の第1学年の「簿記」の教科担任です。

「仮払金と仮受金」の授業の中で、以下の取引の仕訳をする問題を出し、演習中に机間指導を行っている時、以下の解答を書いている生徒がいました。その解答を通して、生徒全体に指導しなさい。

なお、ホワイトボード、机上の教科書を用いても構いません。

また、構想を練る時間に、板書しても構いません。

<取引>

従業員の出張に際し、旅費の概算額として¥50,000を現金で渡した。

●生徒の解答

（借方） 前 払 金 50,000 （貸方） 現 金 50,000

【正答】

（借方） 仮 払 金 50,000 （貸方） 現 金 50,000

商業

受験番号

指導の構想を練る時間：5分間 模擬授業の時間：5分間

（1）本試験のねらい

学級全体を指導する場面において、指定された学年の学習内容について、考え方の過程を示しながら適切な指導ができるかを評価します。

（2）問題の内容

あなたは、商業高校の第1学年の「簿記」の教科担任です。

「決算整理」の授業の中で、以下の取引の仕訳をする問題を出し、演習中に机間指導を行っている時、以下の解答を書いている生徒がいました。その解答を通して、生徒全体に指導しなさい。

なお、ホワイトボード、机上の教科書を用いても構いません。

また、構想を練る時間に、板書しても構いません。

<取引>

決算にあたり、売掛金残高¥400,000に対して2%の貸し倒れを見積もった。ただし、貸倒引当金勘定の残高は¥2,000である。（差額補充法）

●生徒の解答

（借方） 貸倒引当金繰入 2,000 （貸方） 貸倒引当金 2,000

【正答】

（借方） 貸倒引当金繰入 6,000 （貸方） 貸倒引当金 6,000

※貸倒見積額 $¥400,000 \times 0.02 = ¥8,000$

$¥8,000 - ¥2,000$ （貸倒引当金勘定の残高） = ¥6,000

商業

受験番号

指導の構想を練る時間：5分間 模擬授業の時間：5分間

(1) 本試験のねらい

学級全体を指導する場面において、指定された学年の学習内容について、考え方の過程を示しながら適切な指導ができるかを評価します。

(2) 問題の内容

あなたは、商業高校の第1学年の「簿記」の教科担任です。

「商品売買の取引（3分法）」の授業の中で、以下の取引の仕訳をする問題を出し、演習中に机間指導を行っている時、以下の解答を書いている生徒がいました。その解答を通して、生徒全体に指導しなさい。

なお、ホワイトボード、机上の教科書を用いても構いません。

また、構想を練る時間に、板書しても構いません。

<取引>

千葉商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃¥2,000は現金で支払った。

B品 50個 @¥1,000 ¥50,000

●生徒の解答

(借方)	仕入	50,000	(貸方)	買掛金	50,000
	引取運賃	2,000		現金	2,000

【正答】

(借方)	仕入	52,000	(貸方)	買掛金	50,000
				現金	2,000